

気候情報

2011年1月の日本の天候

- 全国的に低温だった
- 日本海側で多雪、太平洋側は少雨・多照
- 沖縄・奄美で日照時間が少なかった

1月の天気概況

期間を通して冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。一方、太平洋側では晴れの日が多かった。日本付近には断続的に強い寒気が流れ込んだため、1986年以来25年ぶりに1月としては北・東・西日本と沖縄・奄美がそろって低温となり、特に西日本と沖縄・奄美の気温はかなり低かった。日本海側では降雪量が多かった。東北から北陸地方にかけての山沿いでは3mを超える積雪となったところがあった。一方、太平洋側では降水量がかなり少なく、北・西日本太平洋側では1月としては1946年以降で第1位の少雨、東日本太平洋側では第2位の少雨となった。また、東日本太平洋側では1月としては1946年以降で第1位の多照となった。沖縄・奄美では1月としては1946年以降で最も寡照となった。

上旬：昨年末から旬のはじめにかけては西日本を中心に強い寒気が流入し、西日本日本海側では記録的な大雪となった。その後も冬型の気圧配置が続き断続的に強い寒気が流れ込んだため全国的に低温となり、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多く、気温はかなり低かった。

中旬：冬型の気圧配置が続き、全国的に低温となった。日本海側では曇りや雪または雨の日が多く所々で大雪となった一方、太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。なお、旬の後半は非常に強い寒気が西日本を中心に流れ込んだため、西日本や沖縄・奄美では顕著な低温となった一方、北日本では寒気の緩む所があった。

下旬：冬型の気圧配置がおおむね続き、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。旬の中頃には北日本を中心に冬型の気圧配置が緩む日があったが、旬末は冬型の気圧配置が強まり、北陸地方を中心に日本海側の広い範囲で大雪となった。

1月の気候統計

月平均気温：全国的に低く、特に西日本と沖縄・奄美ではかなり低かった。西日本を中心に平年を2℃以

上下回ったところがあった。

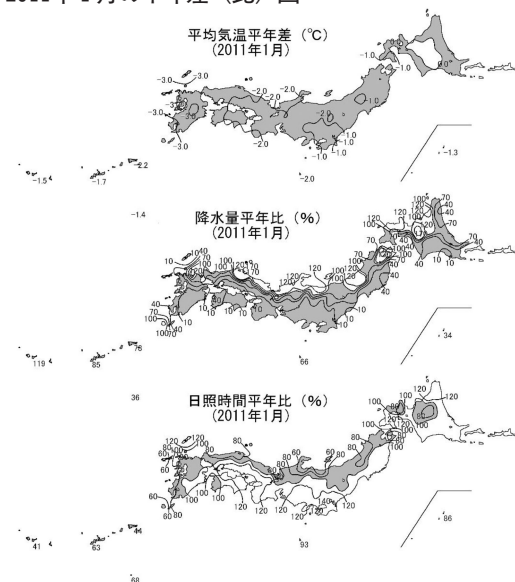
月降水量：東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側が多かった。一方、北日本から西日本にかけての太平洋側ではかなり少なく、西日本日本海側では少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：東日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側と西日本太平洋側が多かった。一方、東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり少なく、西日本日本海側では少なかった。北日本日本海側では平年並だった。
(気象庁観測部統計室)

1月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温低い方から(℃)
種子島 8.3 沖永良部 14.0
- ・月降水量少ない方から(mm)
釧路 4.0 浜松 0.0 大阪 0.5
高知 0.0 など31地点
- ・月間日照時間多い方から(時間)
東京 243.9 大阪 196.0 高松 181.7
など16地点
- ・月間日照時間少ない方から(時間)
高田 31.6 石垣島 33.5 など7地点
- ・降雪の深さ月合計多い方から(cm)
室蘭 94 酒田 208
- ・月最深積雪大きい方から(cm)
米子 89

2011年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。